



ふるプロってなあに！ 第4号（全5回）

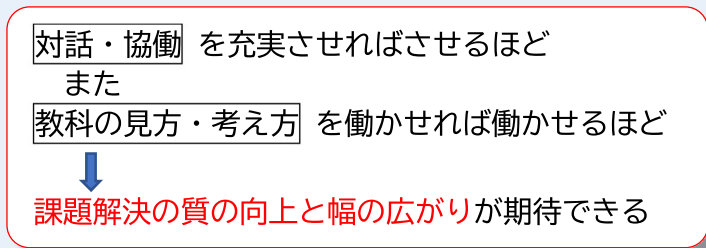
今年度はどんなことをしているの？

令和5年度のテーマは「**課題解決の質を高める**」です。
2つのアプローチで取り組んでいます。

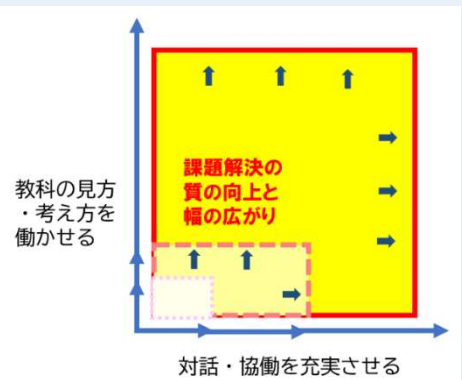
- ① 「**課題解決の質を高める**対話・協働」の在り方
- ② 「**教科の見方・考え方を働かせて課題解決の質を高める**」ためのしかけや環境設定

これは、教科学習と「嶺南ふるさと学習」をつなぐということです。

こんなイメージです。



こんなふうに

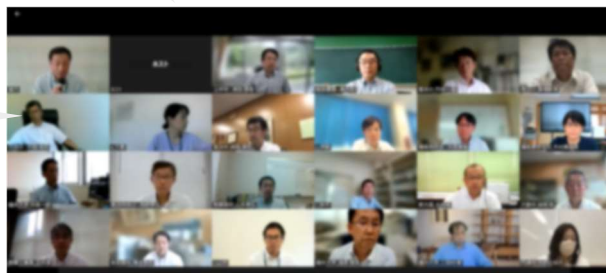


このテーマについて、ふるプロ会議のメンバーで協議をし、いくつかの実践のヒントが得られました。

テーマ① 嶺南ふるさと学習において**課題解決の質を高める**ために、児童生徒にとって**どのような対話や協働が有効か**

「誰と」対話、協働するのか、ですね。その道のプロの方とか、大学の先生、地域を知る方、議員など、学校外の方との協働が必要で
す。対話の相手をどう考えるのか、教師の見方だけで決めることなく、子どもと一緒に対話の相手を考えていくことが、対話の深まり
につながるでしょう。

教員の押し付けのような
「協働」ではなく、子供た
ちが協働の必要性を感じ
るような「協働」であるべ
きですね。



令和5年度第1回ふるプロ会議（R5.6.21）

課題解決のときはもち
ろん、課題設定の際の
対話もとても重要で
す。

教科→探究だけでなく、探究の中で必要な教科の力として考える
ケースもあってよいと思います。探究のつまずきを教科に持ち込む
という学習観の転換も必要ですね。

現状として、先生方に教科の見方、考え方ということが浸
透しているかどうかポイントです。まずは先生方がそれらに
ついてしっかりと理解することが求められますね。

テーマ② 嶺南ふるさと学習において、**教科の見方・考え方を働かせて課題解決の質を高める**ために
どのようなしかけや環境設定が必要か